

## KGビジネスプランコンテスト学生実行委員会とは

私たち KG ビジネスプランコンテスト学生実行委員会は、年一回大学で行われるビジネスプランコンテストの運営をメインとし、他にも外部から招いた起業家の方たちの講演会や実践型起業イベント、アイデアワークショップ、プログラミング講座などの企画・運営に携わる団体です。私たち自身も外部のイベントに参加するなど、社会に貢献できる起業家精神を身に付けるため、日々楽しみながら活動し、SNS でも積極的に情報発信しています。

## 2018年度の活動方針

私たちは今年度の活動方針を「Scrap and Build」(革新のために一新していく)と決定しました。

今年で13回目を迎える「KGビジネスプランコンテスト」ですが、社会の変化とともにビジネスプランコンテストのあり方も徐々に変化しています。私たちは今までの「自由テーマでの募集」に加えて「テーマを設定して募集」し、ビジネスプランをより考えやすく、次に繋げやすいものにする事で、「KGビジネスプランコンテスト」を起業のための入口として、より多くの方が参加することを目標とし、さらなる発展を目指しています。

## 年間スケジュール (2018年度)

- 5月 起業家VOICE ~シリコンバレー発起業家x現役学生起業家 対談イベント~
- 6月 KG Startup Days
- 7月 KGビジネスプランコンテスト募集開始
- 8月 プログラミング講座
- 11月 KGビジネスプランコンテスト最終審査会

## KGビジネスプランコンテスト学生実行委員募集

『KGビジネスプランコンテスト学生実行委員会』は、関西学院大学の学生にビジネスや起業に対する関心を持ってもらい、関西学院大学における起業文化創出を推進すべく活動しています。本コンテストの開催の他にも、さまざまなイベントを企画・運営しています。

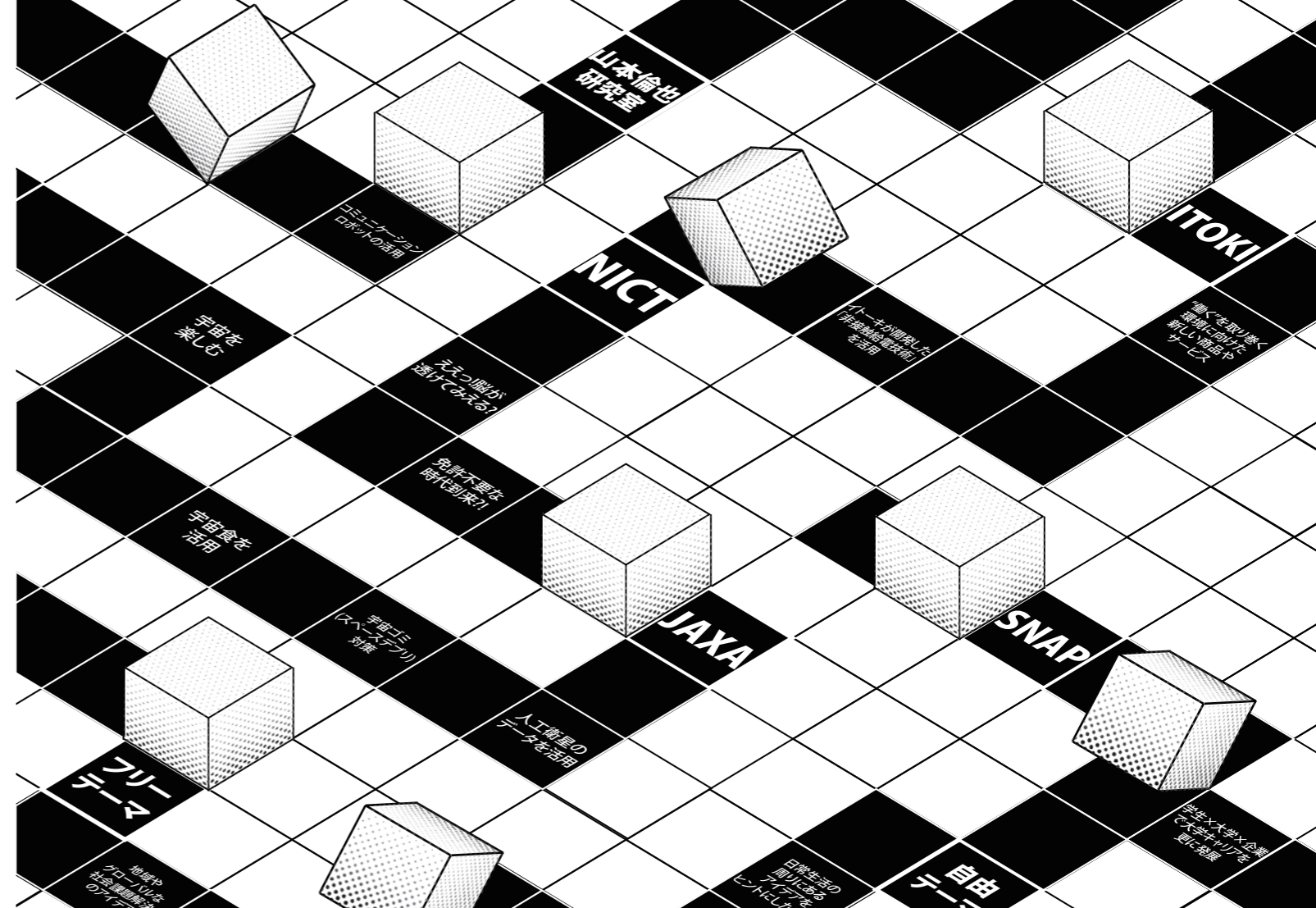
興味を持たれた方は、是非一度ご連絡ください。

連絡先 : kgbpc@kwansei.ac.jp @kgbpc KGビジネスプランコンテスト @kgbpc2018

「KGビジネスプランコンテスト」事務局

 関西学院大学 研究推進社会連携機構

TEL: 0798-54-6890 E-mail: kgbpc@kwansei.ac.jp HP: http://www.kwansei.ac.jp/shakairenkei/



自分が持っている力(アイデア、スキル、課題解決等)を駆使して「新しく事業を起こす力」を試そう!

自ら課題を発見し、主体的に行動のできる、リーダーシップ型人間を応援しています!

# KGビジネスプラン コンテスト2018

【大学部門】  
最優秀賞 [1件] **20万円**  
優秀賞 [1件] **10万円、他**

【高校部門】  
最優秀賞 [1件] 図書カード3万円  
優秀賞 [2件] 図書カード1万円、他

【中学校部門】  
最優秀賞 [1件] 図書カード3万円  
優秀賞 [2件] 図書カード1万円、他

KANSAI STUDENTS PITCH Grand Prix 2019

出場権獲得の  
チャンスあり!

「平成30年度起業家甲子園」近畿地区大会「ミライノピッチ」

他、協力機関、企業による表彰あり!

## 挑戦者求む

募集期間 2018年 **7/2**月~**10/9**火 必着

■研究推進社会連携機構事務局(西宮上ヶ原キャンパス)提出 16時50分まで  
■メール送信 23時59分まで

ブラッシュアッププログラム 2018年 11月1日(木)~11月9日(金) (予定)

主催: 関西学院大学研究推進社会連携機構 共催: 株式会社池田泉州銀行

協力: 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)、株式会社イトーキ、SNAP、関西学院大学理工学部人間システム工学科山本倫也研究室  
後援: 関西学院後援会、関西学院同窓会 企画・運営: KGビジネスプランコンテスト学生実行委員会



KGビジネスプランコンテスト  
ホームページ



## 「KGビジネスプランコンテスト2018」実施要領

- 応募資格**
- 【大学部門】「関西学院大学・聖和短期大学」の学生、大学院生が代表者となり、二次審査、最終審査会においてプレゼンテーションを行うこと。高校・中学校部門対象者で、本人が特に希望する場合も応募可とする。
- 【高校部門】関西学院高等部、関西学院千里国際高等部、  
関西学院大阪インターナショナルスクール高等部、啓明学院高等学校、  
三田学園高等学校（関学クラス）、帝塚山学院高等学校（関学クラス）
- 【中学校部門】関西学院中学部、関西学院千里国際中等部、  
関西学院大阪インターナショナルスクール中等部、啓明学院中学校、  
帝塚山学院中学校（関学クラス）

※個人、チームどちらでの参加もOK

- 応募部門**
- 【大学部門】①～⑩の指定テーマもしくは「⑪自由テーマ」から、選択したテーマについてのビジネスプランを募集する。
- ◎関西学院大学理工学部人間システム工学科 山本倫也研究室
- ①コミュニケーションロボットの活用
- ・社会課題の解決を目指すビジネスモデル
  - ・暮らしを豊かにするビジネス提案
  - ・人とロボットが共存するビジネス展開 など
- ◎国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）
- ②人工衛星のデータを活用したビジネスプラン
- ③宇宙ゴミ（スペースデブリ）対策におけるビジネスプラン
- ④宇宙食を活用したビジネスプラン
- ⑤宇宙を楽しむビジネスプラン
- ◎国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
- ⑥ええっ！脳が透けてみえる？…考えていることがわかる技術が確立された際にやってみたいビジネスプラン
- ⑦免許不要な時代到来？！…自動運転の時代が到来した際に考えられるビジネスプラン
- ◎株式会社イトーキ
- ⑧“働く”を取り巻く環境に向けた新しい商品やサービスのビジネスモデル
- ⑨イトーキが開発した「非接触給電技術」を活用したビジネスアイデア
- ◎SNAP（※）
- ⑩学生×大学×企業のコラボレーションで、大学キャリア教育を更に発展させていくことができる特別プロジェクトの提案
- ◎自由テーマ：地域やグローバルな社会課題解決のアイデアや日常生活の周りにあるアイデアをヒントにした事業、大学の研究シーズを活用した事業など、市場性を分析し、事業化に向けた具体性のあるビジネスプランを募集する。
- ⑪自由テーマ

【高校部門・中学校部門】①～⑩の指定テーマもしくは「⑪自由テーマ」から、選択したテーマについてのビジネスプランを募集する。

- ◎関西学院大学理工学部人間システム工学科 山本倫也研究室：Robot
- ①コミュニケーションロボットの活用
- ・社会課題の解決を目指すビジネスモデル
  - ・暮らしを豊かにするビジネス提案
  - ・人とロボットが共存するビジネス展開 など
- ◎国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）：Space
- ②人工衛星のデータを活用したビジネスプラン
- ③宇宙ゴミ（スペースデブリ）対策におけるビジネスプラン
- ④宇宙食を活用したビジネスプラン
- ⑤宇宙を楽しむビジネスプラン

- ◎国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）：Technology
- ⑥ええっ！脳が透けてみえる？…考えていることがわかる技術が確立された際にやってみたいビジネスプラン
- ⑦免許不要な時代到来？！…自動運転の時代が到来した際に考えられるビジネスプラン
- ◎株式会社イトーキ：Service
- ⑧“働く”を取り巻く環境に向けた新しい商品やサービスのビジネスモデル
- ⑨イトーキが開発した「非接触給電技術」を活用したビジネスアイデア
- ◎SNAP（※）：Career Design
- ⑩学生×大学×企業のコラボレーションで、大学キャリア教育を更に発展させていくことができる特別プロジェクトの提案
- ◎自由テーマ（自由にプランを作成）
- ⑪自由テーマ

### ※SNAP：採用を通じて、日本を、熱くする、プロジェクト

<設立の背景>

若者に向き合う大人は、志を持ち、熱く、本気で生き、その背中を若者に示しているのか…？答えはNOだ。だからこそ、若者に最も接する大人である「採用」が、どう生き、学生に何を語るのか…。それは日本の未来にとって、極めて重要なこと。だからこそ、経団連でもなく、政府でもなく、志のある大人が産学で集い、「採用」について本質的に議論をし、学生に、社会に、然るべき発信をし、「採用」を通じて、結果的に日本を熱くし、元気にしていく。そんなプロジェクトです。

### ●プロジェクト参加企業

（以下企業の有志参加者で構成）

トヨタ自動車、日本ガイシ、アドヴィックス、トヨタファイナンス、マキタ、トヨタコネクティッド、村田製作所、ワークスアプリケーションズ、栄光、リンクアンドモチベーションズ

### 応募方法

所定の事業計画書（<http://www.kwansei.ac.jp/shakairenkei/>）に入力のうえ、①～③のいずれかの方法でご応募ください。

①研究推進社会連携機構宛メール送信（kgbpc@kwansei.ac.jp）

②印刷して研究推進社会連携機構（西宮上ヶ原キャンパス 本部棟2階）に持参

③印刷して研究推進社会連携機構に郵送

※郵送先 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155  
関西学院大学研究推進社会連携機構 KGBPC事務局係

### 審査基準

“Mastery for Service”の精神を基盤とし、以下の3つの基準で審査します。

- ・課題に対する解決方法が明確であること（技術、ビジネスモデルの説明が明確か）
- ・新規性・創造性があること
- ・事業化の可能性が高いこと

### 選考スケジュール

- ①一次審査（書類審査）：10月26日（金）
- ②ブラッシュアッププログラム：11月1日（木）～11月9日（金）（予定）
- 書類審査を通過した作品に対して、公開プレゼンテーション審査に向けて作品をブラッシュアップしていくためのサポートをします。
- ③二次審査（プレゼンテーション審査）：11月10日（土）13時～
- ④最終審査（公開プレゼンテーション審査）：11月25日（日）10時～

### 審査員

関西学院大学学長	村田 治
株式会社池田泉州銀行執行役員	阪口 広一
株式会社イトーキ代表取締役社長	平井 嘉朗
ライク株式会社代表取締役社長 兼 グループCEO	岡本 泰彦
株式会社サンワカンパニー代表取締役社長	山根 太郎
株式会社ROUGH LABO代表取締役	山本 宝

### 注 意

- ・プランはオリジナルものに限りません。
- ・最終審査会は公開形式で行い、各メディアに広報することがあります。特許等取得を検討しているプランについては応募者の責任のもと管理をお願いします。
- ・「指定テーマ」の応募プランに関する知的財産権について、応募者は応募時点で主催者（テーマを提供する機関・企業を含む）への譲渡に合意したものとします。